

中部プラスチックリサイクル協同組合 事業報告書

事業名 2025年度 秋の勉強会

担当・出席者 名古屋分科会（分科会長：石神孝三）・参加者13名

開催日時・場所 令和7年11月16日（日）三重県 湯の山温泉グリーンホテル会議室

講演会 一般社団法人 プラスチック循環利用協会 土本 一郎 様

演題 「プラスチックの国内資源循環に向けて」

内容

これまで日本は使用済みプラスチックや工程内プラスチックの多くを海外のリサイクラーに依存してきましたが、国際情勢の変化や輸出規制の強化を受けて、国内で廃プラスチックを回し続ける仕組みづくりの必要性が一層明確になってきています。

また、国内循環を進める事で見える化されリサイクルの質の向上や不適切処理の防止にも繋がり社会的な意義が非常に高いとの内容でした。

担当所見

取り巻く環境の変化に伴い、今後は回収して終わりではなくどう使われて製品として戻ってくるのかまでを意識してプラスチックリサイクルに取り組む必要があると感じさせられました。講演会の中でもありましたが自動車産業をはじめリサイクル材を求める環境が年々強まり大きなチャンスが来ているとの内容で、来年に向けて希望の持てる講演会となりました。

また、湯の山温泉の泉質はトトロの湯で会員相互の親睦も図れました。

